

平成22年度

施政方針 当初予算

平成22年第2回伊賀市議会定例会が3月4日から29日まで開催され、平成22年度予算や平成21年度補正予算などの各種議案が審議されました。

開会日、内保市長は「自分たちのまちは自分たちで作るという気持ちを持って、市民と議会と行政の三者が意見を出し合い、協力し合って、合意を形成することが重要であると思っています。行政は市民の皆さんの合意形成のための説明責任を果たし、市民の皆さんの思いを政策と経営に反映させる責任があります。

伊賀市が“ひとが輝く、地域が輝く”住みよいまちになるように責任を持って職員と共に全力で頑張っていく所存です」と施政方針を述べました。



施政方針

第2「生活・環境」

防災対策

近年の風水害や震災では、犠牲者が高齢者をはじめとする要援護者に集中していることから、災害時要援護者に対する避難支援対策の重要性が防災対策としての課題です。国では、各自治体に対し早期の「避難支援プラン」の策定を促している、市でも災害発生時などに具体的で着実な取り組みを推進するため「災害時要援護者避難支援プラン」を作成し、平成22年度の早い時期に運用したいと考えています。

ごみの再資源化

さくらリサイクルセンターの敷地の一画に整備している（仮称）伊賀市リサイクルセンターの建設工事は順調に進み、5月中旬頃から試運転を行い、7月からは、しらさぎクリーンセンターの機能を全面移転し、資源化ごみ処理施設として操業を予定しています。本施設の操業により、新たに容器包装プラスチック類のリサイクルを開始しますので、市民の皆さんには、より一層ごみの減量・資源化にご協力をお願いします。

上野市駅前地区市街地再開発事業

平成21年度は、再開発ビルの実施設設計業務および市道、県道、駅前広場詳細設計業務を行いました。

平成22年度は、ビル建築予定地の埋蔵文化財調査を実施した後、再開発ビルの建設に着手する予定です。

第1「健康・福祉」

伊賀地域の将来に向けた医療体制

伊賀地域医療体制整備計画検討委員会を現在まで4回開催し、今ある医療資源の連携や有効活用による持続可能な地域医療体制について協議を進めています。が、輪番制のあり方をはじめ、機能再編や集約化に向けて迅速な検討をしていく必要があります。

保育所（園）の整備

待機児童の解消や保育ニーズ、老朽化した施設への対応や規模の適正化が課題です。保育所（園）の統合や民営化による効果的で効率的な運営を目指し、市民の皆さんの合意と参画を基調として、保育所（園）の再編整備を進めていきたいと考えています。

障がい者福祉の推進

「伊賀市障がい者福祉計画」の基本理念である「だれもが自分らしく暮らせるまち」の実現に向けて取り組みを進めます。障がいのある人が社会参加していくための支援や、生涯を通じた生活支援などのしくみを構築していくために、「伊賀市障がい者地域自立支援協議会」において障がいのある人や幅広い支援機関・事業者などの参加をいただき、さまざまなご意見をいただきながら、計画の推進を図りたいと考えています。

㊦ 第5 「交流基盤」

伊賀鉄道

平成19年10月の開業から2年4カ月が経過しました。伊賀鉄道は市の重要な生活路線でありますので、利用者、事業者、行政が一体となって、利用促進に向けて更なる取り組みを進めます。伊賀鉄道のシンボル列車である忍者号は、平成21年12月に青色の車両が、平成22年3月にはピンク色の車両が更新されました。さらに平成22年度も更新が予定されています。

バス交通

平成22年度は「伊賀市交通計画」の見直しの時期ですので、交通体系全体を検討する中で、福祉の移動支援である福祉有償運送も含めたさまざまな課題を検証・研究し、伊賀市の将来を支える交通体系の構築に向けた交通計画を策定したいと考えています。

道路

地域間の交流や連携を促進する名阪国道のインター改良整備、南北軸の地域高規格道路「名神名阪連絡道路」の早期具体化や、国道368号の四車線化整備、国道422号三田坂バイパスなどの整備促進について関係機関に働きかけます。また、これらの幹線道路に接続し、地域住民の暮らしを支える生活道路としての市道も、整備を進めていく予定です。また、広域農道整備事業に関連する路線の整備は道整備交付金事業で継続して進めていく予定です。

㊦ 第6 「しくみ」

伊賀市総合計画

総合計画は、平成18年度から27年度までの10カ年が計画期間で、市を取り巻く地域社会の将来像と実現するための基本的な政策を示す「基本構想」と、その政策に従った根本的な施策・事業を明らかにした「基本計画」で構成されています。その基本計画の前期計画期間が平成22年度で終了することから、平成23年度からの5カ年の後期基本計画を策定する予定です。なお、平成21年12月には後期基本計画の策定にかかる基本方針（案）を策定し、パブリックコメントなどの準備を進めているところです。

地区市民センター整備

地域自治の拠点として未整備地区を中心に地区市民センターの整備を進めてきましたが、全38地区が完了する運びとなりました。今後は、上野・青山支所管内の地区市民センターの老朽化している施設の修繕・改築や既存施設の有効利用などの検討を行います。

行財政改革

「行財政改革大綱」は平成22年度で取組期間の5年が終了となりますが、引き続き行財政改革を推進する必要があることから「第2次行財政改革大綱」を策定します。市民のニーズに応えるタイムリーで柔軟な市政運営と財政運営の健全化の実現に向けた実効性のある大綱の策定を目指します。

* 施政方針の全文は市議会のホームページに掲載する予定です

㊦ 第3 「教育・文化」

校区再編

（仮称）上野南地区中学校は、平成16年度から地域や保護者の代表者、学校関係者の皆さんで組織する実施計画検討協議会を中心に取り組みを進めてきました。10月には、いよいよ校舎新築工事への着手を予定しています。校名は「上野南中学校」を校名案としています。通学環境の整備なども含め、平成24年4月の開校を目指した取り組みを進めます。

安全・安心な学校施設整備

耐震力不足や市内最大規模の学校でありながら、床面積がかなり小さいという課題を抱えていた昭和44年建設の緑ヶ丘中学校屋内運動場は、現在、改築に向けた設計業務を行っており、平成22年度から改築工事に着手します。

人権施策

人権を尊重することの大切さは、市民の皆さんに理解されてきているものの、人権侵害や差別事件はあとを絶ちません。人権の視点に立った適切かつ迅速な対応をしていかなければならないと考えています。

男女共同参画施策

男女共同参画については、「伊賀市男女共同参画基本計画」が平成22年度で終了することから、地域の特性を活かした施策の展開ができるよう、平成23年度からの5年間の計画を策定します。

㊦ 第4 「産業振興」

鳥獣害対策

平成20年度から行政と地域が一体となって取り組むしくみづくりを進めてきました。鳥獣害の問題を根本的に解決するためには鳥獣の生息環境保全が必要ですので、平成22年度は、鳥獣害対策室を新設し、さらに取り組みを進めていきます。

菜の花プロジェクトの推進

平成21年度は市内28地区で約30haの作付けが行われました。これらは地域の特産物とする目的で栽培されています。6月頃に収穫されるナタネは搾油やビン詰を行う施設で加工をする計画です。この施設は、小学校の農園や自治会の活動など、さまざまな分野で役立てたいと考えています。

産学官連携事業の推進

三重大学との共同研究はこれまでに8件の実績があり、商品化まで進んでいる研究もあると聞いています。伊賀市の新しい産業おこしのため期待しているところであり、引き続き関係機関と連携しながら支援を行いたいと考えています。

観光振興

国の経済成長分野の一つに「観光」を位置づけており、市としても観光振興により他産業への波及効果を拡大し、市民生活をより豊かにしたいと考えています。